

大井村安木内

大井村案内図



発行 大井村長 藤田 十郎
 編集 大井村役場 古谷 良道
 印刷 萩市川島 増山 印刷所

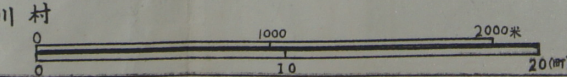
大井村圖

1
25000



- ① 円光寺古墳
- ② 円光寺観音古墳
- ③ 正栄寺
- ④ 荒神社
- ⑤ 松崎古墳
- ⑥ 佐々古決
- ⑦ 元冠イリ石
- ⑧ 漆古墳
- ⑨ 恵美須社
- ⑩ 阿武の松原
- ⑪ 三段土依址
- ⑫ 高倉荒神社
- ⑬ 周應寺
- ⑭ 吉見氏の墓
- ⑮ 吉見氏旧邸跡
- ⑯ 城山
- ⑰ 宮馬場惣式土器
- ⑱ 八幡宮
- ⑲ 重地古墳
- ⑳ トウノ御石棺群
- ㉑ 大應寺
- ㉒ 光明寺山経塚
- ㉓ 大寺跡
- ㉔ 菅原神社
- ㉕ 羽賀台
- ㉖ 阿牟井駅跡
- ㉗ 弘誓寺跡

○	文	北	井	凡
●	史	科	学	寺
■	神	社	道	町
□	界	路	界	界
△	名	勝	村	市



『沿革』

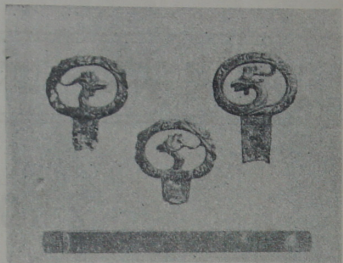
我が大井村は景行天皇の皇子日向彥津彥が阿武の君として来住せられし地にして往古(和銅六年)は阿武井又は阿牟井と唱へ阿武郡の主都なりしが和銅六年五月の御詔勅の御主旨に依り大井の郷と書す。又大化の改新に依り阿武の国を廢し阿武郡を置き郡領を以て郡内の政務を執らしめしが那部誰たりしか知るを得ずと雖も鎌倉時代承久の頃時の執權北條泰時(二男北條時実阿武郡の郡司として当村に來り郡内の政務を司り)が後当村に鎮座の八幡宮を十八郷惣社八幡宮と為して其の社司となり連綿四十五代今日に及べり其の後久しく大内氏の所領となりしが天文の頃吉見正頼毛利元就公に從屬して当阿武の郡の領主となりしが慶長九年毛利輝元公裁入城の際吉見氏は当村に退去して当村を領有せり後元和四年吉見家滅亡後純然たる毛利家の所領となりしが其後廢藩置縣本村と奈古村は第二十二区第五小区に編成せられ区长一人を置き兩村の政務を執りしが明治十二年奈古村と分離し又十七年十一月より全十八年五月迄福川村の内黒川村と合せて大井村黒川村を構成明治二十二年自治制の実施と同時に本村は一つの自治体となる

北浦古代文化の中心地

●宮の馬場彌生式土器
八幡宮境内にあり石器時代遺物包含層であつて出土遺物は石器(半磨製石斧石製皮剣打製石鏃叩き石七製紡錘車及び彌生式土器(無文刷毛目文有文櫛目直線文打痕帶文格子文線東三角形文X狀帶文)等が出土丹塗研磨のものあり遺物川式の特徴を有している
遺跡は山脚の台地に約一〇〇米平方表土約三〇種の下に二〇—九〇種比較的厚い黒土包含層を形成している

●円光寺古墳 長サ十二尺

昭和四年鉄道工事中発見
形成は竪穴式古墳で出土品單龍環式環頭大刀三個を始めとし柄部純金製裝飾金具及びその断片銅環曲玉水晶製瑪瑙製玉環管玉鉄鍔及流部土器等北浦古代文化を代表する
「註一阿武の君の遺跡と謂はれる



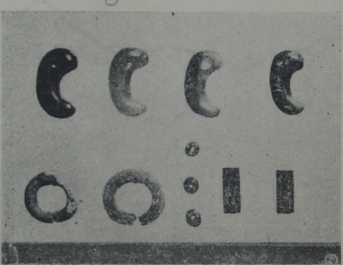
●古塚八百比丘尼穴観音古墳

円光寺にあり横九尺奥行三間穴の内高さ七尺赤石より成る方一丈三尺厚さ八寸程の一枚石にて四角箱の如く開け作り中心に地藏尊をまつる

●光明寺山経塚

嘉永五年毛利藩の調査により発見され石室中から青銅製経筒(高さ一尺二寸口徑三寸八分)を始め鏡二枚劍數本磁器五個槍扇及び金珠が出土経筒には次のような銘文あり
康和三年 辛巳歲 十月九日 始
同四年壬午五月 畢 願主 天台宗僧惟超銅施主 樺武則 鑄師 雀部重吉

●元冠イカリ石
荒人社一ノ鳥居脇にあり



●トウノ郷石棺群

昭和二十七年発掘石棺中より銅片人骨祝部土器出土此附近一帯群をなし長さ七尺巾三尺五寸高さ一尺五寸のもの多数あり

●阿武伊 願

延喜部省式賦傳なり(願名は俗に阿武伊の本郷と云ふ)

●御米 御船 藏跡

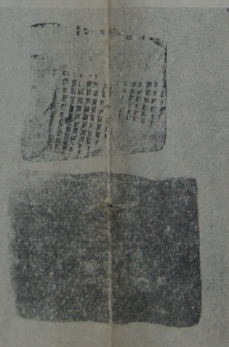
毛利藩時代十八所務代官を置きたる時設ける(湊)

●十八郷惣社八幡宮

天元年中以光法師宇佐より此の郷の川上に草庵を結び禪を誦すること三年永觀元年甲申伽藍堂宇依を建立し隨流出大願寺と号し同二年乙酉の春靈感の御告ありて茲に公許を蒙り日尾山に社殿を建立し宇佐より八幡大菩薩を勧請し書寫の大盤若六百卷を奉納し阿武の總社となす其後入皇八十五代御堀河院の御宇平時実郡司として下向ヶ岡八幡宮を勧請し阿武の十八郷惣社となす

●大寺 廢寺の 跡

古文書には伽羅寺又は唐寺と謂う今尙五重塔の中心礎石(大應寺山門脇にあり)残存し寺跡と考定される地域からは相当の瓦(カラクサ希目、平)が発見されてい



●弘 誓 寺 跡

本郷にあり境内に玄武岩よりなす瀑布あり、明治維新七卿の一人水戸頭澤宣嘉卿仮寓せられ公の近侍橋本將監病を得て卒し境内に石碑あり

●影 降 石

市場にあり高さ四尺平方の石にして往古宿居殿と謂われ阿武の国造りの住める所と云ふ古文書に宿居殿を八幡宮神官阿武家に譲渡云々とあり

●大蔵大夫吉見正頼の墓

圓應寺境内にあり五輪塔高さ四尺二寸巾一尺二寸、二つ引内の紋を彫し法名月左周應大居士とあり

●三河守吉見廣頼の墓

圓應寺境内にあり五輪塔にて二つ引内の紋法名秀岩阿徹大居士慶長十八年六月二十日大井浦にて卒す

●阿武の 松 原

白砂青松連り近くに六島の鳥々を見風光殊に優雅古來雅人の吟詠渺からず四季遊覽に適す
誰かためあふの松原名をとめて
我れにつれなき色を見すらん 大納言良教

●羽 賀 の 台

天保十四年藩主毛利敬親公村田清風等をして洋式に倣い関兵せる古跡にして明治維新策源地として記念すべき地なり

